

平成 24 年度防犯教室講習会について

1 趣 旨

学校における防犯教室の充実を図るため、防犯に関する専門的な知識・技能についての講習会を実施し、防犯教室の指導者等の資質向上を図る。

2 主 催

文部科学省，広島県教育委員会

3 期日及び会場

期 日 平成 24 年 8 月 27 日（月）

会 場 広島県立総合体育館 中会議室・第 1 柔道場
広島市中区基町 4 - 1

4 対象者

（ 1 ）国，公，私立学校の教職員及び保護者等で防犯教室の講師を予定している者

（ 2 ）国，公，私立学校の教職員で学校安全の推進を担当している者

（ 3 ）市町教育委員会学校安全担当者

5 日程及び内容

9:20 9:50 10:00 12:00 13:00 14:30 14:45 16:15 16:30

受付	開会 行事	講 演	昼食 休憩	防犯訓練	実習 準備	実 習	閉会 行事
----	----------	-----	----------	------	----------	-----	----------

（ 1 ）講 演：「学校における安全管理・組織活動の効果的な在り方」
講師：大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター
教授 藤田 大輔

（ 2 ）防犯訓練：「学校への不審者侵入時の子どもの安全確保の方法」
講師：広島県警察本部 生活安全部 安全安心推進課指導員

（ 3 ）実 習：「応急手当の方法について（止血法，包帯法等）」
講師：日本赤十字社広島県支部 救急法指導員

6 効 果

池田小学校事件や東日本大震災を教訓として、学校は安全確保のために、どのような安全管理や組織活動が必要なのかを大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター長である藤田先生から講演を受けた。事件が起きたら、誰がどのように動くのかを危機管理マニュアルに詳細に記すこと、その動きを訓練によって共有することが大切であるが、未然防止に努めることが第一であることなどを丁寧に説明された。

参加者も各学校の安全担当者として「どのようにして学校全体で推進するのか」という視点を持って聞くことができた。

続いて実践編として、警察本部からの指導により、さすまた等を用いた防御訓練を行った。実際に防具を付けた犯人役の警官に対して、棒やさすまたで追い詰める実施訓練を行うことで、臨場感の持てる研修になった。

その後、「ケガを最小限で食い止める」という想定で、日本赤十字社広島県支部の救急法指導員から身近にあるハンカチ等を使った直接的・間接的な止血法・包帯法等を学んだ。